



困難を乗り越えるために必要なものは

これから皆さんが生きていく日々の中には、きっと多くの困難があることでしょう。

では、それらの困難を乗り越えるときに必要なものとは何でしょうか。やる気、根性、集中力など様々な答えが頭に浮かんだことでしょう。それらの答えの一つとして考えられるのが、「『頑張ったら気持ちよかった!』と心から思える経験」だと思います。

先週末で地区総体が終わりました。どの競技場においても、出場選手と応援の力が一つとなり、熱戦が繰り広げられました。特に3年生は、有終の美を飾るべく全力で闘いに挑みました。その結果、優勝して表彰状を手にした人も、目には見えない自分の心に確かな勝利を刻んだ人もいました。

ある競技にダブルスで出場した3年生ペアのことです。2年生の夏の総体は1回戦敗退。今年是对戦相手に7点以上差をつけられても決してあきらめませんでした。1点を取られるたびにペアで声を掛け合い、ついには逆転勝利を収めました。どんなに追い詰められても励まし合い、困難を乗り越えた2人の目には喜びの涙が光っていました。「今は苦しくても、頑張ったら必ずその先には喜びがある」ということを心に刻んだ瞬間でもありました。

さて、たくさんの方が個人種目や個人戦で県大会出場を果たしました。〔陸上部、ソフトテニス部、卓球部、新体操部（校外部）、バドミントン部（男子校外部）、柔道部（校外部）〕県大会に出場するみなさん、地区代表として立派に戦ってきてください。また、文化部の皆さんも、これからコンクールや文化祭等に向けて頑張ってください。「チーム諫間中」の仲間として応援しています。

〔地区大会の主な戦績（団体の部）〕

- ・女子バレーボール部 1位
- ・男子バレーボール部 2位
- ・サッカー部 2位
- ・女子剣道部 3位

命の大切さを実感しました。

7月8日、保健師さんを招いて3年生対象の「がん教育」の授業を実施しました。日本人の2人に1人ががんになる現代において、がんについての正しい知識を身につけ、かけがえのない自分自身の命や大切な家族の命を守るためにどう生きるべきかについて考えました。生徒の感想を読み、返信してくださったご家族の感想もあわせて紹介します。

【授業の感想や家族に伝えたいこと】

- ・今までがんはとても怖い病気というイメージしか持っていませんでした。でも、最近は医療が発達して治せる病気になっていると知り、少しがんのイメージが変わりました。がんになると自分だけでなく周りのいろいろな人に迷惑や心配をかけるので、日頃から生活習慣を見直していきたいです。

【家族の方々より】

- ・20歳の時に中学校の同級生ががんで亡くなりました。そのときは信じられませんでした。今、会社の検診や市からの検診にも積極的に行っています。早期に発見できれば治せると信じています。有害なタバコは、やはりいけません。食生活がとても大事だということをしっかり心がけます。
- ・自分は運動不足解消のために、お昼休みに40分間歩いています。家族のために何か気をつけているかという、忙しくてそれほどできていません。食事内容がとても重要だということを再認識し、今後肉や油の量を減らすよう気をつけていきたいと思いました。

【保護者の皆さまへ】

保護者の皆さまのおかげで、大過なく1学期を終えることができました。ご家庭のお力添えに感謝いたします。どうか2学期もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。